

越後駒ヶ岳山行報告

【山行日】2016年8月28日(水) 晴れ
【集合】岩舟支所P AM 4:00
【費用】マイカー1台 : 4,700円
【メンバー】CL:鈴木ユ SL大西、石川、梶内、
島田、鈴木ヤ、関、津佐、藤原、渡辺、
【コースタイム】岩舟支所P4:00=枝折峠登山口
P7:05~明神峠 7:50~道行山 9:00~小倉山 10:00
~駒の小屋 12:00/12:10~越後駒ヶ岳 12:30/12:40
~駒のノ小屋 12:55/13:25~小倉山P14:40~
道行山 15:40~明神峠 17:00~枝折峠P17:20/17:30
=岩舟支所P20:40



越後三山の盟主、越後駒ヶ岳を目指す計画を立てた。登山口はいくつかあるが、最も人気が高い枝折峠から登るコースにした。関東地方は雨の予報だが新潟県は晴れの予報で、関越トンネルを抜けると予報通り青空が広がっていた。関越道小出ICで降り、R352から折立で奥只見シルバーラインを通って銀山平に出て、R352を戻って枝折峠に着く。峠には立派な駐車場とトイレが整備され、上の駐車場はほぼ満車状態だった。準備を整えトイレを済ませ、ストレッチを行って出発する。トイレ脇から登山道に入り、広い登山道を



登って尾根に出ると展望が広がり、左手に翼を広げたような荒沢岳が大きく見える。明神峠からは前方に、これから登る越後駒ヶ岳がひととき大きく聳え期待が高まる。ここから小倉山までは、アップダウンを繰り返しながら高度が上がらない。小倉山で駒の湯からの登山道を合せ、ここからの展望も素晴らしい。休憩をとりグレープフルーツで水分を補給するが、Wさんが体調不良で下山したいと言う。とりあえず日陰で休ませ様子を見ることにし、皆は先に進ませる。我輩とWさんはゆっくりと登り、とりあえず駒ノ小屋を目指すのが急登になると足が攣り休憩をとる。2度目の足攣りで休憩していると、S

田さんが下りてきた。Wさんと二人で下山するので、我輩は先行する皆さんに合流してくれと言う。CLの指示を無視した勝手な判断に、納得行かないが降りて来てしまったのでは仕方がない。二人に下山して駐車場で待つように指示し、先行隊を追いかける。丁度、単独行の若者が先を行くので、後ろからついて行く。30分くらい着いて行くと、疲れたらしく道を譲られた。そこからさらにペースを上げ、登って行くと先行する皆さんに追いついた。休憩して美味しい栗をいただき、頂上を目指し登って行く。ところが、今度はSLが足攣りで後からゆっくり登ると言う。駒の小屋までもう少しなので、後からゆっくり来るように指示し先に進む。ダケカンバの樹林から露岩の道を登ると前駒に着き、中ノ岳の展望も得られるようになる。前駒からは痩せた稜線を行き、岩稜の急登を慎重に登ると駒ノ小屋へ出た。駒ノ小屋へ着いて驚いた。小屋の前には、冷たい水が豊富に出ているはずだが、水が一滴も流れてなかった。今年は雪が少なく、オツルミズ沢が涸れてしまったようだ。小屋の水を当てにしていたので、我輩は下の水場に汲みに行



くことにし、皆さんは荷物を置いて頂上を目指して出発する。ところが、丁度このころから山頂にガスが掛か



り始め、皆さんが山頂に着いた時はガスで眺望が得られなかったようだ。我輩は、水を汲んだ後、SLが心配で降りて行くが見当たらない。登って来た団体の方に聞いてみたが、それらしき人は見かけなかったと言う。皆さんが山頂から降りてくるのが見え、昼食の準備を始める。今日の山ご飯はチタケうどんである。皆さんが戻って来たので、SLのことを話すと山頂に向かったとの事。我輩が水汲みに降りた時に駒ノ小屋に着き、誰もいないので山頂へ向かったらしい。うどんが出来たころ、SLも戻って来てベンチでチタケうどんやゴーヤのサラダをいただく。お腹いっぱいになったら、トイレを済ませ下山

する。下山は来た道に戻る。小倉山までは、皆さん元気に降りていたが、その先はアップダウンが続き、暑さもあって疲れた様子。下山なのに、登りが多く疲れた足にはとてもつらい。やっと明神峠まで下り、最後の休憩をとる。ここからは健脚組が先行し、駐車場で待っている二人に下山を知らせる。時間は1時間以上オーバーしてしまっただが、全員無事に下山し大きな山に登頂出来た達成感を得ることが出来た。

靴を履きかえ、トイレを済ませ帰路につく。途中、コンビニに寄り、ご褒美の冷たい飲み物やアイスを買ってのどを潤した。小出ICから関越道に入り、関越トンネルを抜けると雨が降っていた。新潟県だけ晴れていて、素晴らしい景色を見ながら登れ、本当にラッキーな一日だった。